

# 地域おこし協力隊募集！

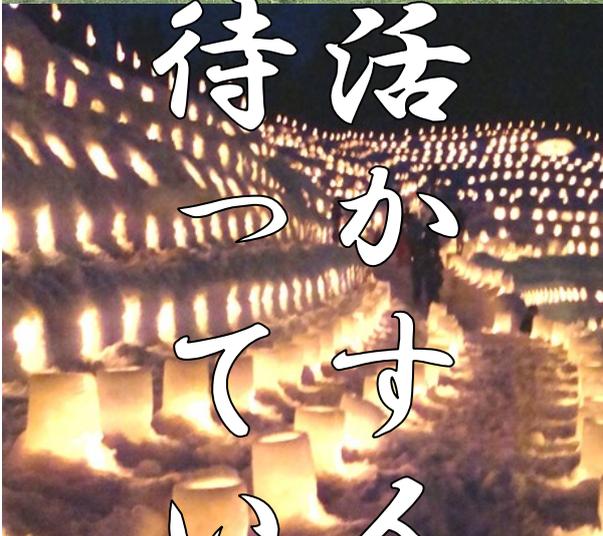
-新潟県上越市-  
安塚区細野



地域の



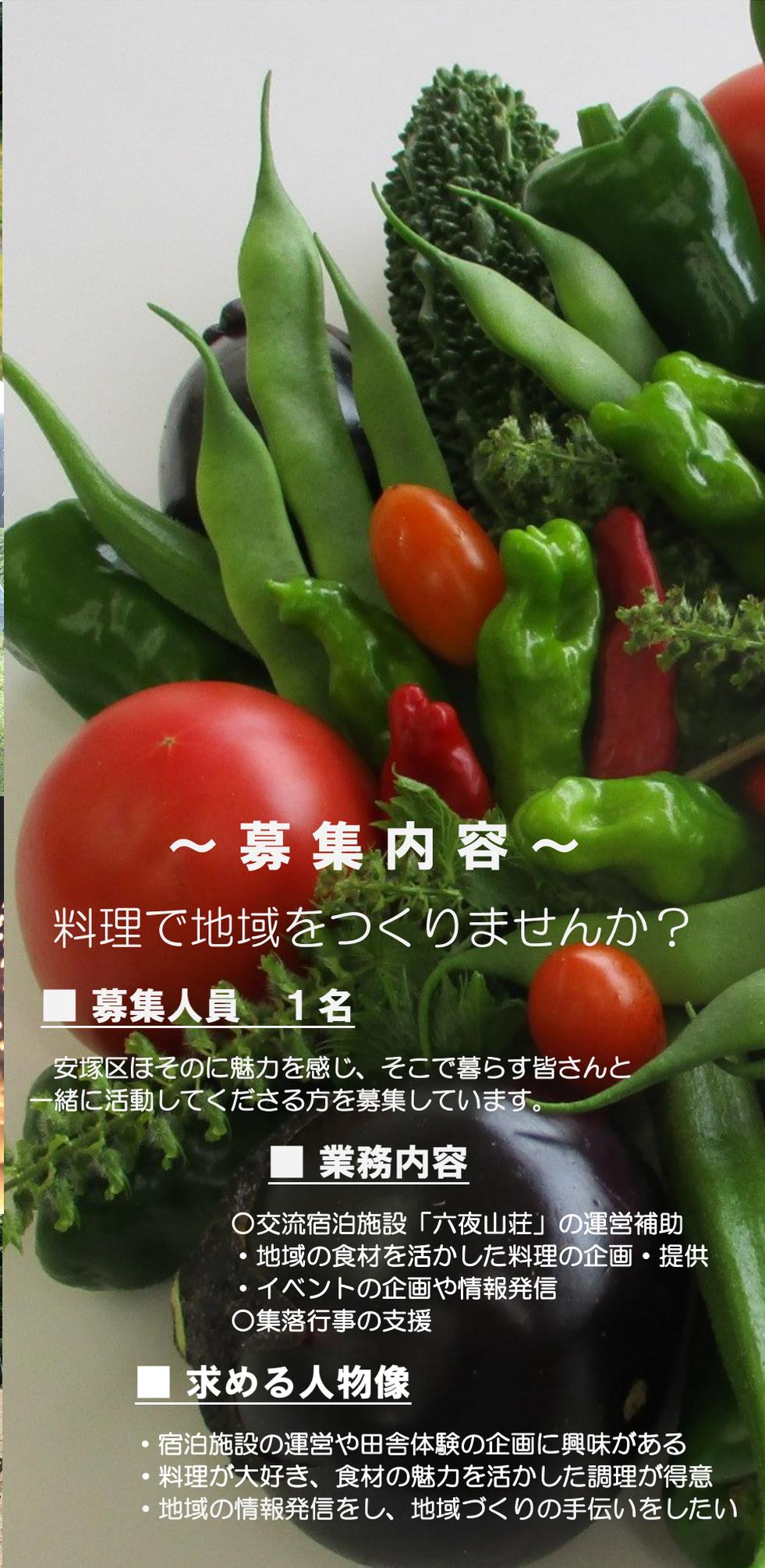
素材を



待活かす  
てす  
い  
ます



ます



## ～ 募集内容 ～

料理で地域をつくりませんか？

### ■ 募集人員 1名

安塚区ほそのに魅力を感じ、そこで暮らす皆さんと一緒に活動して下さる方を募集しています。

### ■ 業務内容

- 交流宿泊施設「六夜山荘」の運営補助
  - ・地域の食材を活かした料理の企画・提供
  - ・イベントの企画や情報発信
- 集落行事の支援

### ■ 求める人物像

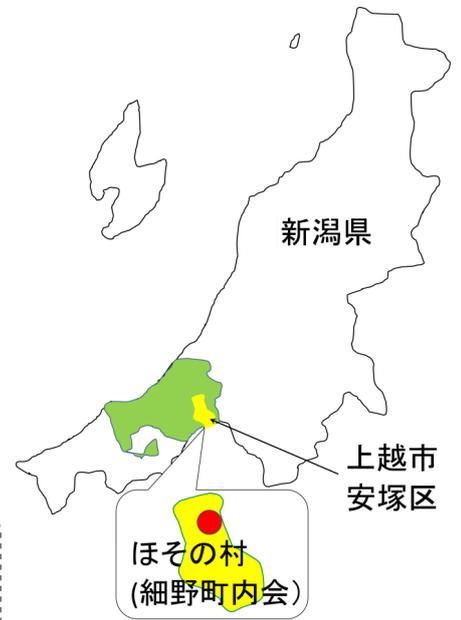
- ・宿泊施設の運営や田舎体験の企画に興味がある
- ・料理が大好き、食材の魅力を活かした調理が得意
- ・地域の情報発信をし、地域づくりの手伝いをしたい



細野町内会長

細野町内会は、高齢化の進む戸数18世帯、人口36人（高齢化率61%）の小さな集落ですが、50年前は、人口がこの3倍もあって、それは賑やかなものでした。

もう一度活気ある集落にしなければと「自然王国ほその村」を立ち上げ、宿泊施設「六夜山荘」の運営のほか、笹だんご、おこわ、米、野菜づくりや自然体験など、集落ぐるみで事業を展開しています。これから若い力を受入れて、新しい村づくりを目指したいと考えています。



新潟県

上越市  
安塚区

ほその村  
(細野町内会)

## 交流宿泊施設「六夜山荘」

四季折々の地元の新鮮野菜や山菜を使った料理や田舎の実家に戻ったかのようなおもてなしが人気の宿です。

六夜山荘は、NPO法人・自然王国ほその村が市の指定管理を受け運営しています。

### ○施設の概要

構造：木造2階建  
(441.66㎡)  
宿泊定員：24人  
(和室：5室)



## 地域の素材



ひと



自然



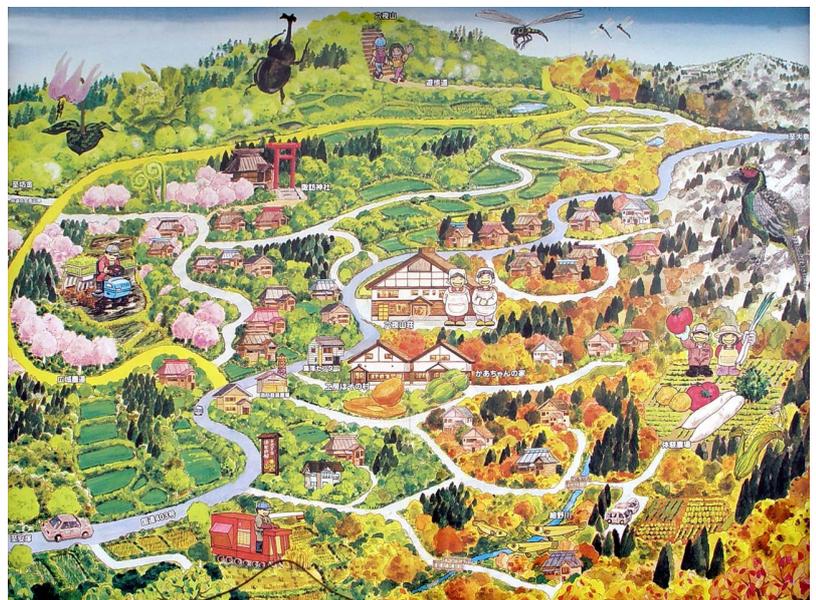
食材

## NPO法人・自然王国ほその村

細野町内会では、今から35年ほど前から、人口と世帯数の減少、高齢化、担い手不足、農地の荒廃などが深刻になってきました。集落存続の危機を感じ、住民総参加の集落づくりを始めました。

心のこもった手づくりの山菜採りツアーなどのイベントや地域内での所得の向上を目指して設立された農産加工施設の運営などが高く評価され、平成8年「豊かなむらづくりコンクール」で農林水産大臣賞を受賞しました。

平成16年にNPO法人・自然王国ほその村を設立。地域の味や山の恵みなど、地域の資源を有効活用し、持続性のある活気と魅力ある集落づくりを進めています。



イラストによるほその村の全景

# がんばるあなたを全力で応援！

## 夢をかなえるためのステップ

### 活動1年目 (慣れる)

#### STEP1

隊員であるあなたは、地域の会合やイベントへの参加、草刈りや道普請などの共同作業を通じて地域の皆さんと触れ合い、地域の情報を共有し、何でも相談し合える絆を深めます。

そして、地域と自らの3年後を想像し、地域振興&キャリアプランを計画。これに沿った活動をスタートします。

### 活動2年目 (動く)

#### STEP2

六夜山荘の運営を手伝います。地域とより関係を密に保ちながら、地域の魅力や状況を見極め、今すぐ、そしてこれから地域に必要な仕掛けを発案し、実践。それらの仕掛けは、任務終了時の自身のキャリアアップや収入にもつながります。

### 活動3年目 (動かす)

#### STEP3

地域おこし協力隊としての3年目は、地域の魅力・地域の人・協力隊のチカラが形となる年。

任期終了を見据えながら、これまでの取り組みを充実させ、地域の目指す未来とあなたの夢をともに実現させましょう。

### 活動4年目 (独立)

#### STEP4

地域おこし協力隊としての任務が終了。

3年間で培った経験を地域そして自らの収入につなげ、うまく活用しながら、次のステップに進みましょう。

地域とともに地域資源を活用して、潤いのある生活にしましょう。



#### 活動中のサポート

○雪が降った。どうすればいいの？

○体調が悪くなった。どうしよう。



地域のならわし、除雪の仕方など分からないことや困ったことがあったら相談しましょう。町内会長をはじめ集落のみんなで全力でサポートします。



#### 移住された方から一言

移住したきっかけは、退職して農業しながら、のんびり暮らしたかったから。

これからほその村に来る人は夢を持って来てください。あなたの夢を実現させるために、みんなが全力で応援します。ほその村は、そんなあったかい人がたくさんいるところです。

第二の人生を歩むため、のんびりした生活がしくて来ました。

コンビニまで20分かかるなど、都会の生活と比べると不便なところもありますが、何もないところがいいのです。おいしい水や空気、満天の星空など、自然の恵みは最高です。



小泉さん夫妻



佐々木さん夫妻

## 1. 雇用期間

- (1) 開始日 平成31年3月1日 ※ただし、雇用開始日は、相談に応じます。
- (2) 終了日 平成30年度内に雇用開始の場合、初年度は平成31年3月31日までとなります。  
初年度終了日以降、勤務成績が良好であれば1年単位で更新し、最長3年間勤務することができません。ただし、平成31年度以降の雇用・更新の正式決定は、市の各年度予算成立後となります。  
※雇用開始日は、現在の職の退職手続等、応募者の希望を考慮しますので、応募書類の「上越市地域おこし協力隊応募用紙」の採用希望日の欄に明示してください。ただし、御要望に応えられない場合もあります。雇用開始日から14日目までは、試用期間となります。

## 2. 雇用形態・勤務条件

- (1) 雇用形態 上越市の非常勤一般職とします。
- (2) 報酬 月額171,300円
- (3) 保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険  
※ただし、任用日に健康保険は75歳以上、厚生年金は70歳以上の人は加入できません。
- (4) 勤務時間 1週間につき5日 原則午前9時から午後5時まで（うち休憩1時間）  
※場合により土日・祝日や夜間の勤務となる場合があります。
- (5) 休暇 年次有給休暇、特別休暇（結婚、病気、忌引休暇等）  
※年次有給休暇は、試用期間中付与しません。
- (6) その他 ①活動期間中の住居・車両は市が用意し、費用を負担します。 ※住居の光熱水費等は各自負担  
②隊員の活動に必要な経費は、市が予算の範囲内で負担します。 ※研修旅費、消耗品等

## 3. インターネット等の環境

- (1) インターネット 光ファイバー可
- (2) 携帯電話 docomo、au、SoftBank対応

## 4. 応募条件

- (1) 採用後、三大都市圏をはじめとする都市地域等（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）から上越市に住民票を異動し、生活の拠点を移すことができる方
- (2) 普通自動車運転免許を有している方
- (3) パソコンの操作（Word、Excel）ができる方

## 5. 応募方法・応募期限

次の(1)と(2)を、上越市自治・地域振興課に提出してください。応募期限は、平成30年12月20日(木)です。

- (1) 応募用紙 上越市地域おこし協力隊応募用紙（指定用紙）
- (2) 履歴書 市販の履歴書に必要事項（氏名、生年月日、写真貼付、押印、住所、電話番号、学歴、職歴、免許・資格等）を記入してください。

※応募期限までに応募者がいなかった場合は、その後も随時、募集を受け付けます。ただし、採用者が決定した場合や受入集落の状況変化等によって、募集を終了することがあります。

※郵送の提出も可能です。郵送をする場合は書留とし、封筒の表に「地域おこし協力隊受験申込」と朱書きの上、下記の申込先へ送付してください。

### ～現地見学会を開催します～

応募いただいた方を対象に、地域おこし協力隊として活動する「細野」や「六夜山荘」を、実際に見学・体験していただく現地見学会を開催します。協力隊としての活動をより具体的にイメージするためにも、ぜひ一度、細野にお越しください！また、「一度、現地を見てみたい」「応募を迷っている」という方も大歓迎です。まずはご連絡ください！

## 6. 選考方法と結果の通知

- (1) 選考試験  
選考試験は、上越市内で「個別面接試験」と「実地試験」を予定しています。面接日等を含め、試験内容の詳細は改めてご連絡します。
- (2) 結果の通知 選考結果は、約1か月後に文書でお知らせします。
- (3) その他
  - ・選考のための経費（書類送付に伴う郵便料や面接試験に伴う交通費等）は、全て応募者の負担となります。
  - ・受験申込時の提出書類は、以下のとおり取り扱います。
    - ①合格の場合 … 返却しません
    - ②不合格の場合 … 結果通知に同封し返却します

## 7. 問合せ・申込み先

わからないことや気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

上越市 自治・市民環境部 自治・地域振興課（〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号）  
電話：025-526-5111（内線1431、1488） E-Mail：jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

## 高士区地域協議会と三郷区地域協議会との意見交換会 実施計画（案）

### 1 目 的

今後の自主的審議の活性化を図るため、共通の自主的審議テーマ「人口減少の抑制」を持つ高士区地域協議会と三郷区地域協議会の意見交換会を開催する。

### 2 開催日時及び会場

- ・開催日：平成 31 年 1 月 29 日（火）
- ・時 間：18 時 30 分から 20 時頃まで（約 1 時間 30 分）
- ・会 場：高士地区公民館 大会議室（大字飯田 11-2）

### 3 出席者

- ・高士区地域協議会委員 12 名
- ・三郷区地域協議会委員 12 名
- ・中部、南部まちづくりセンター職員（事務局） 6 名

### 4 内 容

- ・三郷区地域協議会から下記の事前質問が挙げられている。
  - ①「空き家の活用に至った経緯」
  - ②「協議内容を実行に移す方法」
  - ③「転入者を増やすために必要な取組」
- ・①は、既に高士区地域協議会で実施済みのため、事務局から全体会で説明を行う。
- ・②と③は、高士区としても今後検討する必要がある事項のため、グループ方式で意見交換会を行う。

## 5 次第（案）

- |          |                                     |            |
|----------|-------------------------------------|------------|
| (1) 開 会  | 【進行：小林主任 or 田中主事】                   | <u>5分</u>  |
| ・挨拶      | 高士区地域協議会 飯野 憲静 会長                   |            |
| ・挨拶      | 三郷区地域協議会 山口 典夫 会長                   |            |
| (2) 説明   | ① 高士区の自主的審議の状況 (10分)                | <u>20分</u> |
|          | ② 三郷区の自主的審議の状況 (10分)                |            |
| (3) 意見交換 | 「協議内容を実行に移す方法」<br>「転入者を増やすために必要な取組」 | <u>50分</u> |
| (4) 発表   | 各グループで話し合った内容を発表                    | <u>10分</u> |
| (5) 閉 会  |                                     |            |
| ・挨拶      | 三郷区地域協議会 _____ 副会長                  | <u>5分</u>  |